

施策分析シート（令和6年度）

No1

施策名	戦略的な政策形成と行政改革の推進			施策No	15-01	部課名	総務企画部総務企画課		
						課長名	漆畑	内線	2140
関連部課名	総務企画部総務企画課								
行政評価 事業体系	分野	VII	計画推進のために						
	政策	15	目標の設定と管理による行財政運営の戦略的推進						

目的	戦略的・計画的な政策形成を図るとともに、効率的・効果的な区政運営を推進し、一層の区民サービスの向上や施策の充実を図る。区民へ事務事業等を分かりやすく説明し、区政への参画意識を高め、成果重視やコスト意識の醸成など、引き続き職員の意識改革を進める。								
指標	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文				
		3年度	4年度	5年度					
	①								
	②								
	③								
指標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明		
		3年度	4年度	5年度	6年度 見込み	目標値 (8年度)			
	① 区政に関心がある区民の割合(%)	59.8	55.1	59.3	61.2	65.0	荒川区政世論調査結果より		
	② 行革の取組項目数	149	176	174	175	175	「あらかわ区政経営戦略プラン」に基づく取組数。		
	③								
	④								
	⑤								

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	4年度	5年度	差額	勘定科目	4年度	5年度	差額
	給与関係費	48,761	49,834	1,073	地方税等	0	0	0
	物件費	5,148	9,288	4,140	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	19,502	20,117	615	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	137	78	▲ 59	その他	1,463	1,810	347
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1,463	1,810	347
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,614	6,639	4,025	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 74,699	▲ 84,146	▲ 9,447
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	76,162	85,956	9,794	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 74,699	▲ 84,146	▲ 9,447
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 74,699	▲ 84,146	▲ 9,447
貸借対照表	勘定科目	4年度	5年度	差額	勘定科目	4年度	5年度	差額
	流動資産				流動負債	2,276	2,656	380
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	2,276	2,656	380
	有形固定資産	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	土地	0	0	0	固定負債	19,696	22,562	2,866
	建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	0	0	0	退職給与引当金	19,696	22,562	2,866
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	21,972	25,218	3,246
	無形固定資産	698	619	▲ 79	正味財産	▲ 18,274	▲ 21,599	▲ 3,325
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	▲ 18,274	▲ 21,599	▲ 3,325
	その他の固定資産	3,000	3,000	0	負債及び正味財産の部合計	3,698	3,619	▲ 79
	資産の部合計	3,698	3,619	▲ 79				

財務諸表に関する特徴的事項等

○行政費用では補助費の割合が高く、自治体シンクタンクの運営補助金の16,349千円が約81%を占めている。物件費の内訳としては、シンボルキャラクターグッズ作成委託等と自治体シンクタンクのアンケート調査委託がそれぞれ約31%、行政評価システムの保守委託が約19%、残りが指定管理施設の社労士による実績評価の委託経費となっている。

○貸借対照表に計上している無形固定資産は、シンボルキャラクター等の商標権である。行政収入その他の内訳は、キャラクターグッズの売上金等である。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	○『あらかわ区政経営戦略プラン』に基づき「協働」「業務」「人事」「財務」の4つの戦略から、更なる行財政改革を推進している。 ○全ての政策、施策、事務事業を対象とした分析、評価を行う行政評価を毎年度実施することで、事業の改善や見直しを図っている。この間、政策、施策の分析における「幸福実感指標（GAH指標）」の導入のほか、新公会計制度の導入によるフルコストによる分析を行い課題や問題点を明らかにし、既存事業の改善や充実、新規事業立案に結び付けている。 ○サンセット方式の導入により、全ての事務事業を対象に分類を行い、終期投定が可能な事務事業に終期を設定し、事務事業の見直しを図っている。 ○施設の管理運営に指定管理者制度を積極的に導入し、毎年度の実績評価制度等を通じて、区民サービスの向上と経費縮減の観点から評価を実施し、よりよいサービス提供等につなげている。
課題	○複雑化・多様化する行政需要に加え、昨今の物価高騰等による景気の下振れリスクや、施設の更新など中長期的なスパンでの大規模な行政需要による今後の区財政への影響等を踏まえ、将来にわたり、健全な行財政運営を継続していくための更なる行財政改革が必要である。 ○行政評価制度やサンセット方式を通じて、事務事業の改善・見直しの更なる徹底を図っていく必要がある。 ○指定管理者制度の実績評価制度について、この間、繰り返し見直しを行ってきたところであるが、指定管理者制度の趣旨に照らしてより実効性が上がる形で評価できるよう、絶えず必要な見直しを行っていく必要がある。 ○事業や施設運営に要するコストについて、分析結果を区民に分かりやすく公表するとともに、区政運営に反映させ、PDCAサイクルを更に強固なものとしていく必要がある。
今後の方向性	○行政評価制度について、評価体系や評価方法の見直し等を含め、サンセット方式と合わせてより実効性の上がる形で運用を図るとともに、職員一人ひとりが主体的に提案し、具体的な取組・成果につなげる組織づくりの推進を図る。 ○指定管理者制度の実績評価制度について、より分かりやすい形で実施し、精度を高めていき、区としての説明責任を果たしながら、区民サービスの向上と経費節減の両立を目指す。 ○行政評価における新公会計制度を活用したフルコストによる分析評価を今後も継続することで、区民に対して、事務事業等をより分かりやすく説明していくとともに、安定した区政の運営を図っていく。

施策の分類		分類についての説明・意見等
6年度	7年度	
重点的に推進	重点的に推進	限られた行政資源の中で、多様化する区民ニーズに的確かつ持続的に対応していくためには、戦略的・計画的な区政運営を実践していくことが極めて重要である。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		4年度	5年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
指定管理者制度の運用に関する調整	01-01-11	21,706	22,511	5,776	5,547	重点的に推進	重点的に推進	民間事業者のノウハウを活かしたサービスの向上と費用の縮減の両立を図るという制度の導入趣旨を踏まえ、全庁的な調整を図りながら、適切に運用していく。
行政評価の推進	01-01-12	17,236	19,206	1,804	1,804	重点的に推進	重点的に推進	今後も想定される厳しい財政状況の中で、真に必要な区民サービスを適切に提供していくために、不要不急の事業を見直し、選択と集中により、戦略的に事業を実施していくため、重点的に推進する。
行政改革の推進	01-01-13	11,948	13,243	—	—	重点的に推進	重点的に推進	「あらかわ区政経営戦略プラン（令和6年度～令和8年度）」に基づき、積極的に行政改革を推進していく。
自治体シンクタンクの運営支援	01-01-16	17,076	21,485	14,986	19,187	推進	推進	研究所の安定した運営に資するため、適切な支援を行う。
荒川区シンボルキャラクターの活用	01-01-17	8,195	9,512	2,476	2,867	推進	推進	区民の区への関心を高め、郷土への愛着を深めるとともに、区のイメージ向上等に資するため、推進する。
合 計		76,161	85,957	25,042	29,405			